

バリアフリーの亀山モデル 全国へ

11月13日(土)「めざそうバリアタウン全国大会in亀山」プレ大会が西野運動公園体育館で開催されました。来年の11月12日(土)にはいよいよ亀山で車椅子レクダンス普及会の全国大会が開催される予行となるため遠く九州や横浜から本部の理事の皆さんも来訪されました。

本大会には全国から600人近い皆さんが2日間に渡って亀山に集う予定です。

高齢者や身体に障がいがある人にとってのバリアにはトイレや通路の段差など物理的バリア、誰にもある心のバリア、公共施設等での「もし事故が起こったら誰が責任を...」と言った管理上のバリアなどがあります。車椅子レクダンスはバリアフリーのまちづくりへのひとつの手段にすぎません。でもこのイベントがきっかけで、これらのバリアの解消が少しでも進めば誰にでも住みやすいまちへとつながっていきます。亀山発の新しい名称「めざそうバリアタウン」には、より多くの市民の結集でこの大会を成功させたいとの想いをこめています。

では来年にむかってLet's Go! バリアタウン!

(実行委員会一同)



ミュージカル 白鳥伝説も披露



亀山あるこうかいクラブ5年の活動の集大成「亀の細道」完成

亀山市のウォーキングマップとして従来にない新しいタイプのマップが亀山あるこうかいクラブ監修のもと、このたび亀山市観光協会から発行されました。

タイトルは「亀の細道」。選んだコースは21コースで、大半が従来紹介されていなかったルートです。いずれも10km以下で3、4時間で歩けます。

駐車場などの不自由がないよう起点と終点を公共施設や駅としました。冊子では細かい分岐点を表記できないので迷うこともあります。そこで、同じコースを記載したホームページも作りました。部分地図や写真をたくさん入れて、迷いやすい箇所は拡大してありますので事前にプリントして持参すれば安心です。

このように、冊子版とホームページ版のお互いの長所を活かし合体されたマップを“ハイブリッドマップ”と名づけました。「亀の細道」のサイトは検索キーワード**亀の細道**で容易にヒットします。

冊子は亀山駅前、関駅の亀山市観光協会や東町の「ねこの館」で入手できます。ぜひ手にとってご覧ください。

問合先 亀山あるこうかいクラブ TEL090-8550-8318(伊藤幸一)



表紙は瀧本麻須美さん作

**市民交流の日** レポート 10月21日(木) 19:30~21:30 市民協働センター「みらい」**10月のテーマ：亀山の現状について話しませんか？（出生率、結婚、離婚など）****亀山の現状**

- ・個人情報保護に過剰反応になっていて、団地の地図まで作ることが難しくなっている。
- ・地区の地図作成時、アパートに住む人の表記で特に困っている。表札のない家が多い。
- ・若者がもっと夢をもてる亀山にしたい。
- ・亀山市はローソクの街と言われているがローソクで亀山市をなんとか活性化しようとする人は少ない。何とかしようと思うがなかなか行動できないということもある。
- ・2世帯住宅が増えてきたが、それでも半分以上の世帯が親と同居せず、家を出て行っているようだ。
- ・テレビ番組で中国人が日本の山を買占めているという報道していた。材木と水が目的らしい。
- ・目先でなく広い視野で物事をとらえて考えないといけない。

婚活は？

- ・今は、女性が働けて収入もあるので、家に入る必要がない。
- ・昔に比べて出会いの場が少ない。
- ・若者は自由なほうがいいから結婚生活に興味がない。
- ・地域の団体行動に参加しようとしないので、地域とのつながりも薄れている。

子育て

- ・子どもたちは通学時に名札を付けず、学校に滞在する時にだけ名札を着用するようになった。それだけ物騒な世の中になった。
- ・亀山市に産業が少ないので、出生率も伸びないのではないかと。
- ・出産した後が大変だからという理由で出産しない人が増えてきているようなので出生率が伸びないのではないかと。



この集まりは、毎月21日に（土日、祝日関係なく）19時30分から21時30分に「みらい」で開催しています。申し込み無しで、誰でも自由に参加できます。聞くだけの人も大歓迎です！ぜひ、一度お越しください。

12月21日(火)のテーマ：亀山をどうしたいか（良い点、悪い点）について

19時30分～21時30分です。

どなたでも自由に気軽に参加できます。あなたの想いをお話してください。

～ 輪を広げましょう！（^o^）～

11/7

「亀山みそ焼きうどん」名張でのご当地グルメ大会に出場

市民グループ亀山みそ焼きうどん本舗は11月7日（日）に、名張市にて開催された第3回三重県ご当地グルメ大会に出場しました。大会は、予想をはるかに超える人が亀山みそ焼きうどんを購入するためにずらっと並び、30分待ちの長蛇となりました。昼過ぎには用意した約550食を完売しました。順位は、1位が名張の牛汁、2位が津ぎょうざ、3位が四日市とんてき、4位が亀山みそ焼きうどん、5位が尾鷲さんま寿司となり残念ながら上位になれませんでした。亀山みそ焼きうどんを多くの人に知ってもらうことができました。

感じたことは、各種メディアのおかげで関西圏にも亀山みそ焼きうどんの知名度が上がってきており売れ行きは好調ですが、供給体制が伴わないことでした。今後はスタッフをもっと増やし、お客様をあまり待たせず買っていただけることが必要だと感じた大会でした。今は調理の鉄板等機材はそろいましたが、スタッフが足りない状況です。皆さんのスタッフ応募をお待ちしています。

問合せ先 090-8550-8318（伊藤幸一）



あのひと、このひと

このコーナーは、市民活動団体などで活動している方に、活動を始めたきっかけや活動の内容、今後の展開、これから活動を始める方へのアドバイスなどを率直なことばで語っていただきます。

今月は、『ハイビスカス』の竹下博之さんです。

ソーシャルダンスとは、簡単に言えば社交ダンスのサークルです。社交ダンスと言えば何となく恥ずかしく、とっつきにくい感じがありますが、勇気を出してやってみますと結構、はまること間違いなしです。

グループ名の「ハイビスカス」は、花言葉の上品な美しさ、信頼、繊細な美、華やかさにあやかって名付けました。

活動は、週1回のペースで主に市民協働センター「みらい」の多目的ホールで行っています。メンバーは60歳代の若々しい、男性3名と女性7名の計10名で構成され、スロウ スロウ クイック クイックと全身でステップを踏んでいます。更に、細やかな足さばきの指導を受け、ダンスの奥深さに戸惑いながらも、柔軟な身体に近づこうと、硬さのある我が身と戦いつつ軽やかなリズムの流れに乗って汗をかいています。



レッスンは、まず足などつらない様にストレッチをしてから、ワルツ、タンゴ、ルンバ、チャチャチャを主に踊っています。最初は足型がわからず前後左右ふらふらするだけで何をやっているのかさっぱりでしたが、先生の懇切丁寧な指導のお陰でステップが踏めるようになり、レベルも上がりつつあります。休憩時には、車座になって座談会、近況報告で盛り上がっています。この様に気楽に楽しんでストレス等を発散し、快い汗を流しています。今後も前向きな気持ちを持って、出来る限り続けていきたいと思っています。

普段着れないようなドレスを着飾って、パーティーに出席したり、他のサークルとの交流をすると、色々な人との出会いもあります。ダンスは年齢に関係なく、手軽に楽しめる生涯スポーツです。ダンスをすることで、背筋を伸ばして生き活きとした気持ちが生まれ、生き甲斐と活力を得ることができ、明日へのやる気が出てきます。未熟ながらも若さを失わないよう、皆様との和を保ち踊れることができればいいかなと思います。ダンスに出会えて最高！

問合先 82-1094 (竹下)



市民協働センター「みらい」にて





野口あゆみ氏講演「バリアフリータウンのまちづくり」

11月13日(土)、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターの野口あゆみ事務局長を講師に迎え市民活動講座を開催しました。

野口氏は、2000年3月に現在の夫である車椅子の青年と出会ったことをきっかけに「伊勢・鳥羽・志摩ガイド おでかけチェアウォーカー」発行して、バリアフリー活動を始められました。2002年には、三重県の特異プロジェクトである「伊勢志摩再生プロジェクト」事業の一環として立ち上げた伊勢志摩バリアフリーツアーセンターの事務局長に就任しました。そして、鳥羽駅前ビル1階に事務所を構え、バリアフリー施設の情報発信や調査、また、利用者の要望を聞いたり、各種施設へのアドバイスを行っているそうです。

野口氏は講演の中で、「行ける場所を探すのではなく、誰もが行きたいところへ行けるように活動をしている。たとえ、バリアがあったとしても、その先に魅力があれば車椅子でど



んどん進んでいく。そして、情報発信をして公共や民間の施設管理者に気づいてもらい、車椅子で出掛けられるところを増やしていきたい。そうすることによって車椅子使用者であっても、外に出る気持ちが生まれるし、施設側もバリアがあれば改善しようという気持ちが生まれ、考え方も変わってきてソフト面でもハード面でも改善が期待できる。」とお話しされました。

また、バリアフリーツアーセンターの活動のおかげで車椅子使用者に、「こんな所まで来れるとは思っていなかった。」と喜ばれることが多いそうです。参加者は野口氏の講演に熱心に耳を傾けていました。

(市民活動講座企画会議)

12/20

「市民活動なんでも相談所」相談希望者募集

「何かやりたいけど、どうしたらいいかわからない。」「活動するのに資金が不足して...どうしよう?」など市民活動に関する相談に応じます。

予約優先で相談を受け付けますので、相談を希望される人は、お申し込みください。

と き : 12月20日(月) 1時～2時 2時30分～3時30分 4時～5時

と ころ : 市民協働センター「みらい」2階 第2会議室

相 談 員 : 亀山市市民活動専門コーディネーター 亀山裕美子氏

申 込 方 法 : 氏名、住所、電話番号、希望日時、相談内容をご記入のうえ、直接申込先に提出していただくか FAXにてお知らせください。 先着順で受け付けます。

申 込 先、問 合 先 : 市民部 市民相談協働室 TEL 84-5008 FAX 82-1434



市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています

詳しくは、市民相談協働室 (Tel 84-5008、Fax 82-1434、Email : shimin@city.kameyama.mie.jp)

又は、市民協働センター「みらい」(Tel 84-5800、Fax 84-5801、Email : mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp 東町一丁目8番7号)までご連絡ください。

編集作成 : 「きらめき亀山21」広報部 (問合先 : 亀山市市民部市民相談協働室〒519-0195三重県亀山市本丸町577番地)

市民活動ニュース配置場所 : 毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター「みらい」・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあい交流センター・林業総合センター・鈴鹿馬子倶楽部・老人福祉センター・健康づくり関係センター・青少年研修センター・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・亀山駅・百五銀行亀山支店・市民のショップねこの館・茶気茶気・オアシス館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター (津市)

ホームページ <http://shimin-kyoudo.sakura.ne.jp/kiyakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/> 「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。